

囲炉裏端について

「囲炉裏端」とは、自分の敬愛する故松本晴雄さんが、毎日更新していたブログの名称です。名称への思いを松本さんは次のように記載しておりました。「むかし、どの家にも囲炉裏があった。家族のみなは勿論、行きがかりの人さえ一点に燃える火に手をかざし、顔と心をしあわせ色に染めた（中略）わがパソコンを囲炉裏にみたくて暖かな光を放つ私なりの真心を届けたい」と。その言葉どおり晴雄さんは、ブログ、フェイスブックを使いこなし、その思いを多くの方々へ発信し続けていました。その情報量はすさまじく、ライフワークとして研究されている地域の歴史、偉人についての情報は、他の資料を探してもなかなかたどり着けないものばかり。また、その研究内容を惜しむことなくすべて公開しており、たくさんのファンの心を捕まえていました。

晴雄さんは、松崎を愛し、また、松崎に愛されていたと思います。晩年になってもその研究心は衰えを知らず、松崎中を愛用のアシスト付き自転車で駆け巡り、その季節の風景や瞬間の表情などを、これまた愛用のカメラで写真を撮り、行き交う町内外の人々との交流を深め、松崎町の魅力発信に努めてくださっていました。ふるさと納税についてもたくさんのご助言をいただき、中でも旧依田邸が大沢温泉ホテル時代に人気であったお土産の「まゆ最中」を復活させ返礼品にできないかと働きかけをいただき、「まゆこ」という名称で返礼品とすることができました。この開発にも多大な支援をいただきました。直接町に対しましても、ご自身のライフワークの一つであった「小沢一仙」の研究から寄稿を依頼された伊豆新聞からの執筆料までも、松崎町のふるさと納税の発展のためにとご寄付いただきました。

このようにご自身の人生を松崎町の活性化のために捧げていただいた一人の人間として、故松本晴雄さんの素晴らしき人柄に敬意と感謝の意を表するとともに、この松崎の偉人の想いを次世代へつないでいきたいと存じます。